

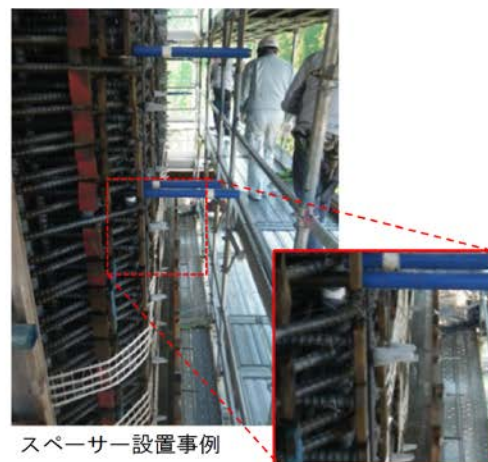
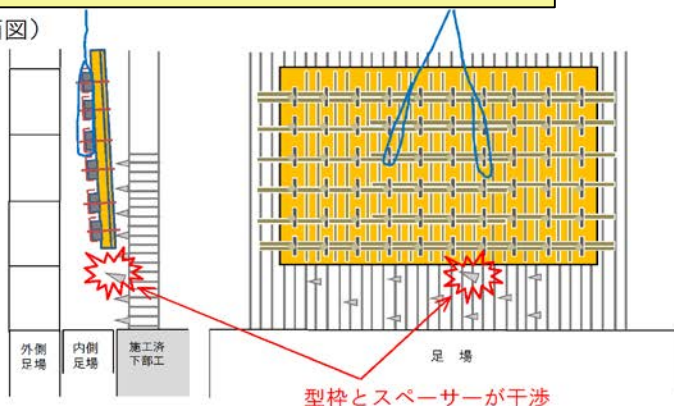
工事事務防止行動計画 ニュースレター

工事事務「0」を目指して

工程① 橋脚脚頭部で、型枠がスペーサーと干渉

【令和2年1月14日事故発生】

(側面図)

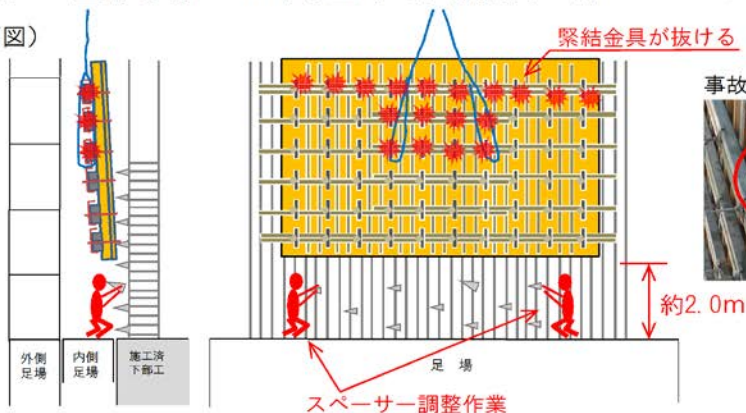


スペーサー設置事例

スペーサー

工程② 型枠を約2m吊り上げて、作業員2名がスペーサーを調整

(側面図)



事故前 (他の面の状況)



緊結金具

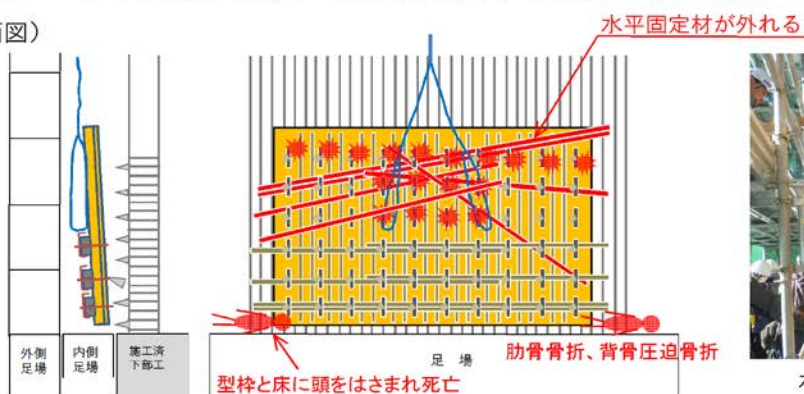
事故後



緊結金具が抜ける

工程③ 水平固定材(角鋼管)が外れて型枠が落下、作業員2名が死傷

(側面図)



水平固定材が外れて落下した型枠

●事故の概要

・橋梁上部工工事中において、橋脚脚頭部で躯体コンクリート打設のため、タワー型クレーンを使用して型枠設置中、型枠が落下し、下部にいた2名の作業員が下敷きとなった。【1名死亡、1名重症】

●事故の原因

①吊荷の下に作業員が立ち入った

・型枠パネルの設置作業中、吊上げた型枠パネルの下で作業を行った。

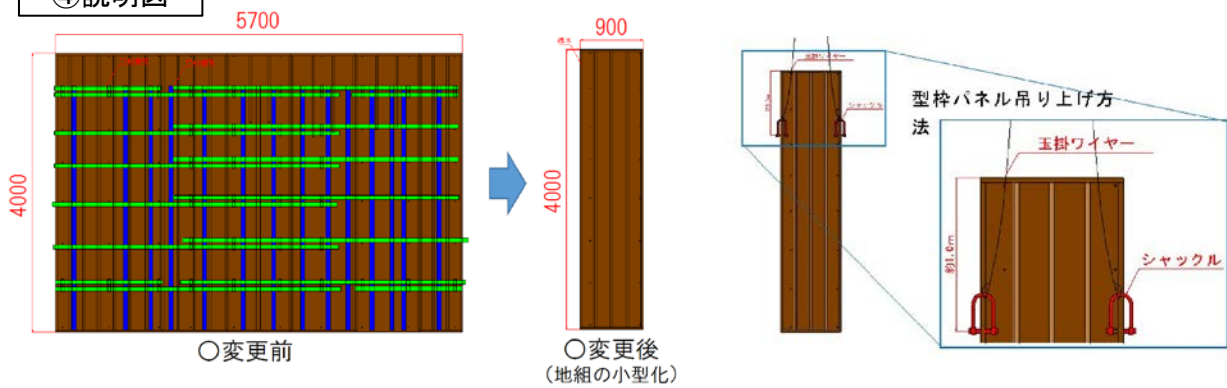
②型枠の吊り方に対する検討が不十分

・型枠合板と角鋼管全体を結束する等の措置を講じないで、吊上げ作業を行った。

【再発防止策】

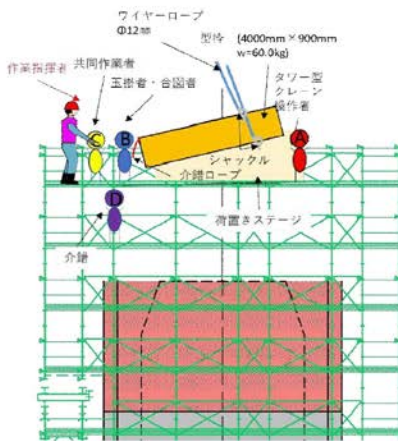
- ①作業員全員に「玉掛作業」「吊り荷直下への立入禁止」等の安全教育実施
- ②クレーン作業のある日はその日のKY活動時に作業員一人一人に「吊り荷の下への立入禁止の周知」の確認サインの記入を行う。
- ③型枠下方での作業が必要になった場合は、吊り上げた型枠を着地させたことを確認後、作業を行う。
- ④型枠組立は小型化したパネルを一枚ずつ所定の箇所に吊り込んで取り付ける。【下図参照】
- ⑤事前に、現場で下げ振り等により、型枠と接触・干渉する可能性がある箇所を確認し、調整・取外等の措置を行う。【下図参照】
- ⑥元請の安全巡視者が1日2回、型枠の地組・吊り方等を明記した作業手順書により適正な作業が行われていることを確認する。
- ⑦玉掛作業時は玉掛作業員に加え、玉掛技能講習終了作業員の2人体制で確認する。
- ⑧元請者の安全パトロールを月2回実施。

④説明図



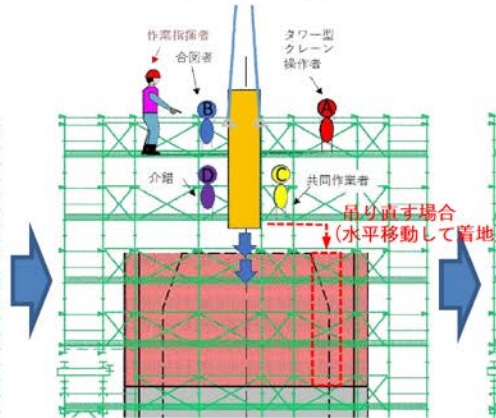
＜ステップ1＞

型枠パネルの吊り上げ



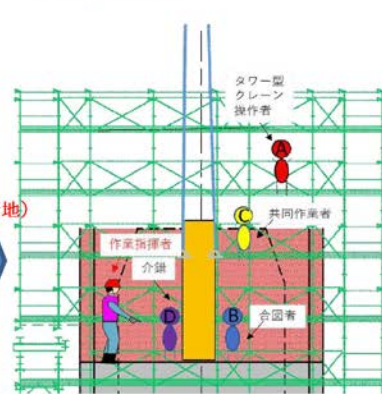
＜ステップ2＞

所定位置に吊り下げ荷下ろし
(吊り直す場合は一旦水平移動して着地)



＜ステップ3＞

所定位置に設置・仮固定、
パネル設置完了後、水平
固定材を設置



⑤説明図

